

第 2 章 調査結果

1 年齢

回答者の年齢を分類すると、図表1のとおりであった。

1番回答が多かった年代は50～54歳で44人（19.9%）、次いで55～59歳が40人（18.1%）となり、40代・50代で全体の63.4%を占めている。

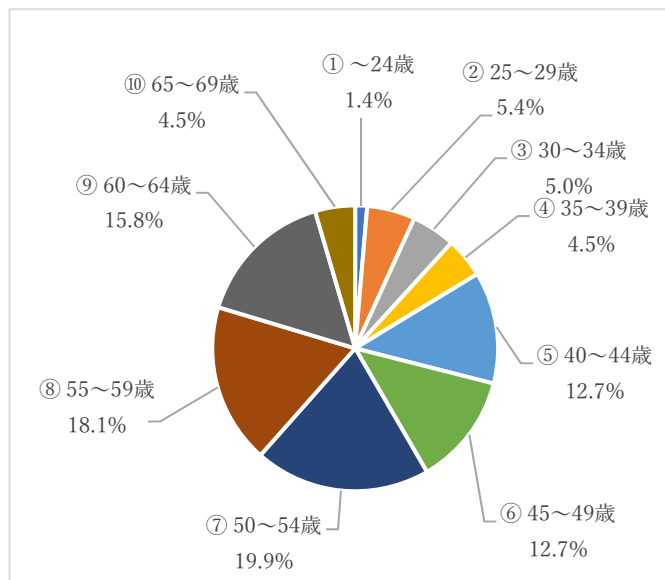
図表 1-1 年齢

n=221

年齢	回答数	割合
① ～24歳	3	1.4%
② 25～29歳	12	5.4%
③ 30～34歳	11	5.0%
④ 35～39歳	10	4.5%
⑤ 40～44歳	28	12.7%
⑥ 45～49歳	28	12.7%
⑦ 50～54歳	44	19.9%
⑧ 55～59歳	40	18.1%
⑨ 60～64歳	35	15.8%
⑩ 65～69歳	10	4.5%
⑪ 70歳以上	0	0.0%
総計	221	100.0%

図表 1-2

n=221



2 居住地

回答者の居住地は23区が114人（51.3%）、多摩地域は74人（33.5%）であった。

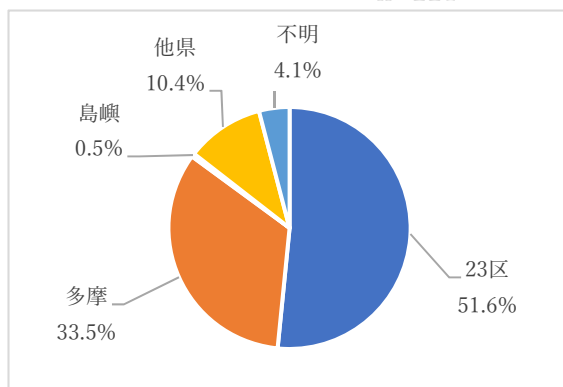
図表 2-1 居住地

n=221

図 2-2

地域	回答数	割合
23区	114	51.6%
多摩	74	33.5%
島嶼	1	0.5%
他県	23	10.4%
不明	9	4.1%
総計	221	100.0%

n=221



各地域の割合は以下のとおり。

図表 2-3 (都内) n=198

地域	区市名	回答数	割合
23区		114	57.6%
	中央区	1	0.5%
	港区	3	1.5%
	新宿区	6	3.0%
	文京区	4	2.0%
	台東区	1	0.5%
	墨田区	5	2.5%
	江東区	4	2.0%
	品川区	6	3.0%
	目黒区	1	0.5%
	大田区	8	4.0%
	世田谷区	15	7.6%
	渋谷区	4	2.0%
	中野区	3	1.5%
	杉並区	3	1.5%
	豊島区	4	2.0%
	北区	4	2.0%
	荒川区	1	0.5%
	板橋区	7	3.5%
	練馬区	16	8.1%
	足立区	5	2.5%
	葛飾区	4	2.0%
	江戸川区	9	4.5%
多摩		74	37.4%
	八王子市	11	5.6%
	立川市	4	2.0%
	武蔵野市	1	0.5%
	三鷹市	7	3.5%
	青梅市	3	1.5%
	府中市	5	2.5%
	昭島市	2	1.0%
	調布市	6	3.0%
	町田市	4	2.0%
	小平市	3	1.5%
	日野市	3	1.5%
	東村山市	6	3.0%
	国分寺市	3	1.5%
	国立市	2	1.0%
	福生市	1	0.5%
	東久留米市	3	1.5%
	多摩市	2	1.0%
	羽村市	1	0.5%
	あきる野市	2	1.0%
	西東京市	4	2.0%
	西多摩郡	1	0.5%
島嶼		1	0.5%
	八丈村	1	0.5%
不明		9	4.5%
総計		198	100.0%

図表 2-4 (他県) n=23

地域	件名	回答数	割合
他県		23	100.0%
	宮城県	1	4.3%
	埼玉県	7	30.4%
	千葉県	4	17.4%
	神奈川県	10	43.5%
	愛知県	1	4.3%
総計		23	100.0%

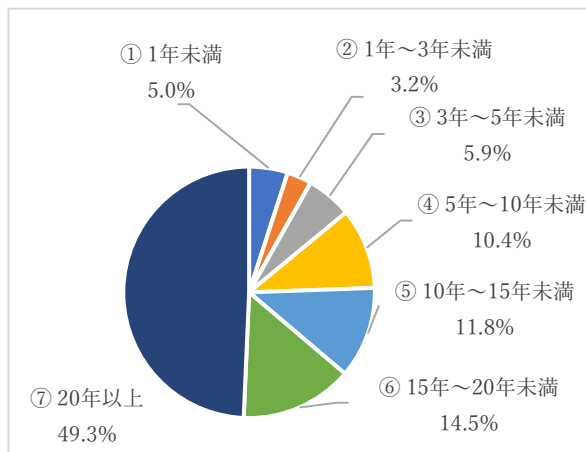
3 看護職として働いている（いた）通算年数

看護職として働いている（いた）期間は、通算して「20年以上」が109人（49.3%）で最も多い結果となった。

図表 3-1 勤務通算年数 n=221

通算年数	回答数	割合
① 1年未満	11	5.0%
② 1年～3年未満	7	3.2%
③ 3年～5年未満	13	5.9%
④ 5年～10年未満	23	10.4%
⑤ 10年～15年未満	26	11.8%
⑥ 15年～20年未満	32	14.5%
⑦ 20年以上	109	49.3%
総計	221	100.0%

図表 3-2 n=221



4 就業状況

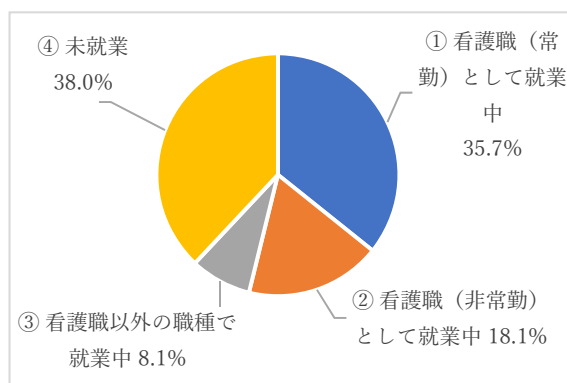
「未就業」が84人（38.0%）で最も多く、「常勤として就業中」は79名（35.7%）、「非常勤として就業中」は40名（18.1%）であった。

2022年度、2023年度調査と比較してみると、「非常勤として就業中」は約20ポイント減少し、「未就業」は約20ポイント増加していることがわかる（図表4-3参照）。

図表 4-1 就業状況 n=221

就業状況	回答数	割合
① 看護職（常勤）として就業中	79	35.7%
② 看護職（非常勤）として就業中	40	18.1%
③ 看護職以外の職種で就業中	18	8.1%
④ 未就業	84	38.0%
総計	221	100.0%

図表 4-2 n=221



図表 4-3 就業状況

就業状況	2022年度		2023年度	
	回答数	割合	回答数	割合
看護職（常勤）として就業中	1,536	36.6%	1,535	37.7%
看護職（非常勤）として就業中	1,665	39.7%	1,403	34.5%
看護職以外の職種で就業中	288	6.9%	313	7.7%
未就業	706	16.8%	817	20.1%
総計	4,195	100.0%	4,068	100.0%

年代別の比較では、これまでのように、年代の上昇とともに、「常勤として就業中」の割合が減少し、「非常勤として就業中」の割合が増加するような傾向は見られず、ほぼすべての年代において「未就業」の割合が高い結果となった。

図表 4-4 就業状況（年代別）

n=221

	20代		30代		40代		50代		60代		回答数	
① 看護職（常勤）として就業中	6	40.0%	7	33.3%	15	26.8%	31	36.9%	20	44.4%	79	35.7%
② 看護職（非常勤）として就業	1	6.7%	3	14.3%	14	25.0%	13	15.5%	9	20.0%	40	18.1%
③ 看護職以外の職種で就業中	4	26.7%	2	9.5%	2	3.6%	8	9.5%	2	4.4%	18	8.1%
④ 未就業	4	26.7%	9	42.9%	25	44.6%	32	38.1%	14	31.1%	84	38.0%
	15		21		56		84		45		221	

5 離職期間

設問 4 で、「看護職以外の職種で就業中」「未就業」と回答した 102 人の離職期間は、「1 年未満」が最も多く、60 人（58.8%）であった。

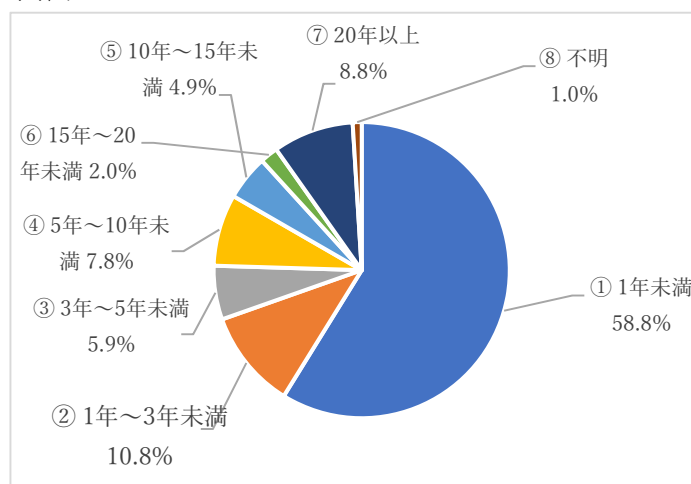
図表 5-1 離職期間

n=102

離職期間	回答数	割合
① 1 年未満	60	58.8%
② 1 年～3 年未満	11	10.8%
③ 3 年～5 年未満	6	5.9%
④ 5 年～10 年未満	8	7.8%
⑤ 10 年～15 年未満	5	4.9%
⑥ 15 年～20 年未満	2	2.0%
⑦ 20 年以上	9	8.8%
⑧ 不明	1	1.0%
総計	102	100.0%

図表 5-2

n=102



年代別の比較を図表 5-3 に示す。ほぼすべての年代で「1 年未満」の割合が最も多い。

30 代では「3 年～5 年未満」、40 代・50 代で「5 年～10 年未満」の割合が、他の年代に比べ高くなるのは、過去の就業意向調査アンケートでも見られる傾向であり、結婚や出産・育児などライフイベントが離職期間に関係していると思われる。

図表 5-3 離職期間（年代別）

n=102

	20代		30代		40代		50代		60代		回答数	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
① 1年未満	5	62.5%	6	54.5%	19	70.4%	26	65.0%	4	25.0%	60	58.8%
② 1年～3年未満	2	25.0%	1	9.1%	1	3.7%	3	7.5%	4	25.0%	11	10.8%
③ 3年～5年未満	1	12.5%	3	27.3%	0	0.0%	1	2.5%	1	6.3%	6	5.9%
④ 5年～10年未満	0	0.0%	0	0.0%	3	11.1%	5	12.5%	0	0.0%	8	7.8%
⑤ 10年～15年未満	0	0.0%	1	9.1%	2	7.4%	0	0.0%	2	12.5%	5	4.9%
⑥ 15年～20年未満	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	1	2.5%	0	0.0%	2	2.0%
⑦ 20年以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	10.0%	5	31.3%	9	8.8%
⑧ 不明	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
	8		11		27		40		16		102	

6 今後の就業予定

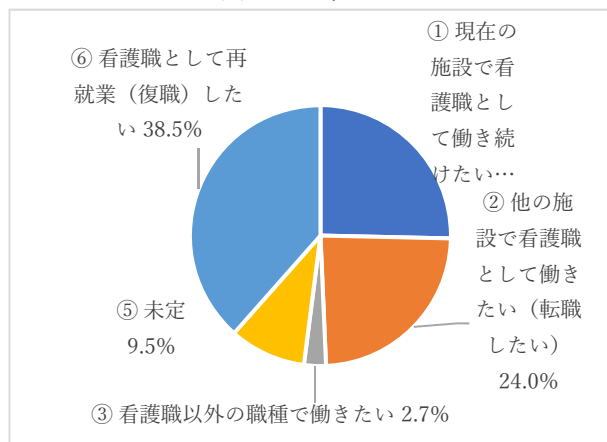
今後の就業予定は、「看護職として再就業（復職）したい」が 85 人（38.5%）と最も多く、「現在の施設で看護職として働きたい」が 56 人（25.3%）、次いで「他の施設で看護職として働きたい（転職したい）」が 53 人（24.0%）であった。

図表 6-1 今後の就業予定

n=221

	回答数	割合
① 現在の施設で看護職として働きたい	56	25.3%
② 他の施設で看護職として働きたい（転職したい）	53	24.0%
③ 看護職以外の職種で働きたい	6	2.7%
⑤ 未定	21	9.5%
⑥ 看護職として再就業（復職）したい	85	38.5%
総計	221	100.0%

図表 6-2 今後の就業予定 n=221



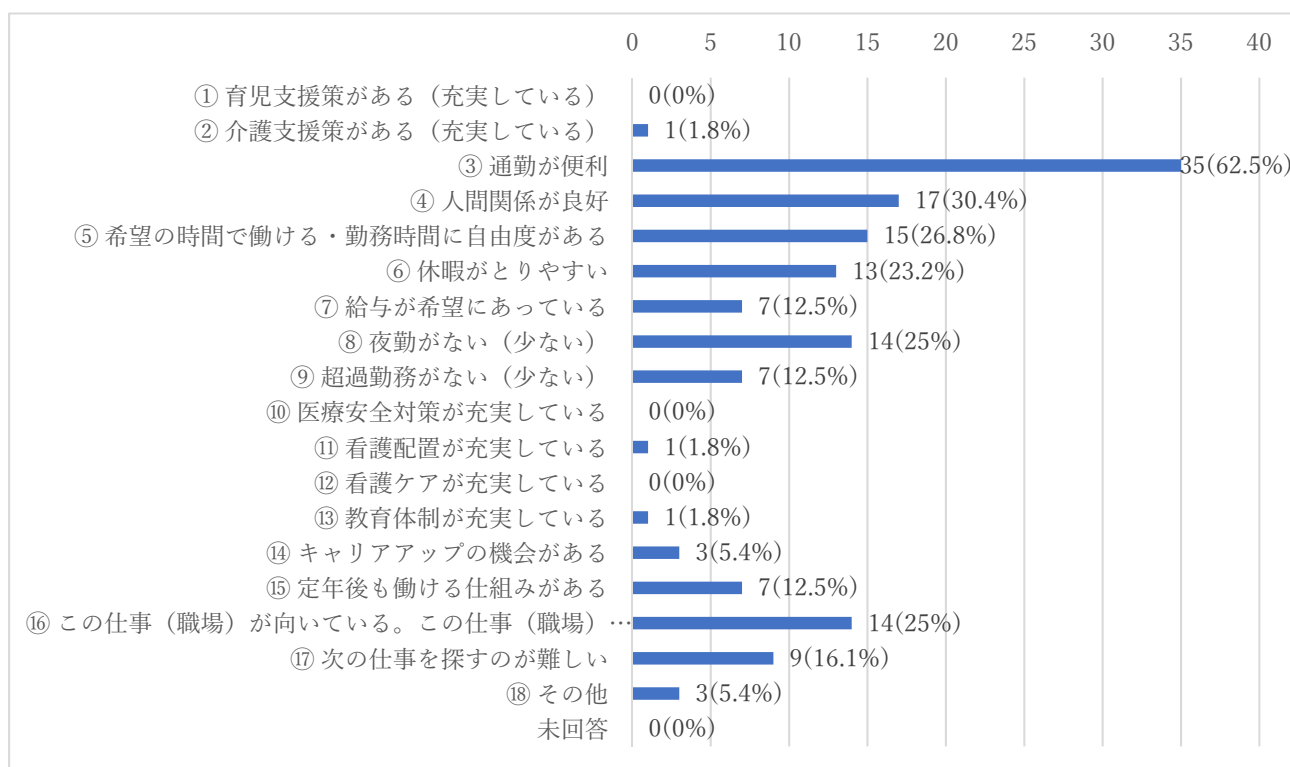
7 現在の職場で継続して働きたい理由（主な理由 3 つ）

設問 6 で「現在の施設で看護職として働きたい」と回答した 56 人に、その理由を尋ねた。

「通勤が便利」が 35 件（62.5%）、次いで「人間関係が良好」が 17 件（30.4%）、「希望の時間で働ける・勤務時間に自由度がある」が 15 件（26.8%）と続く結果となった。

図表 7-1 継続して働きたい理由

n=56



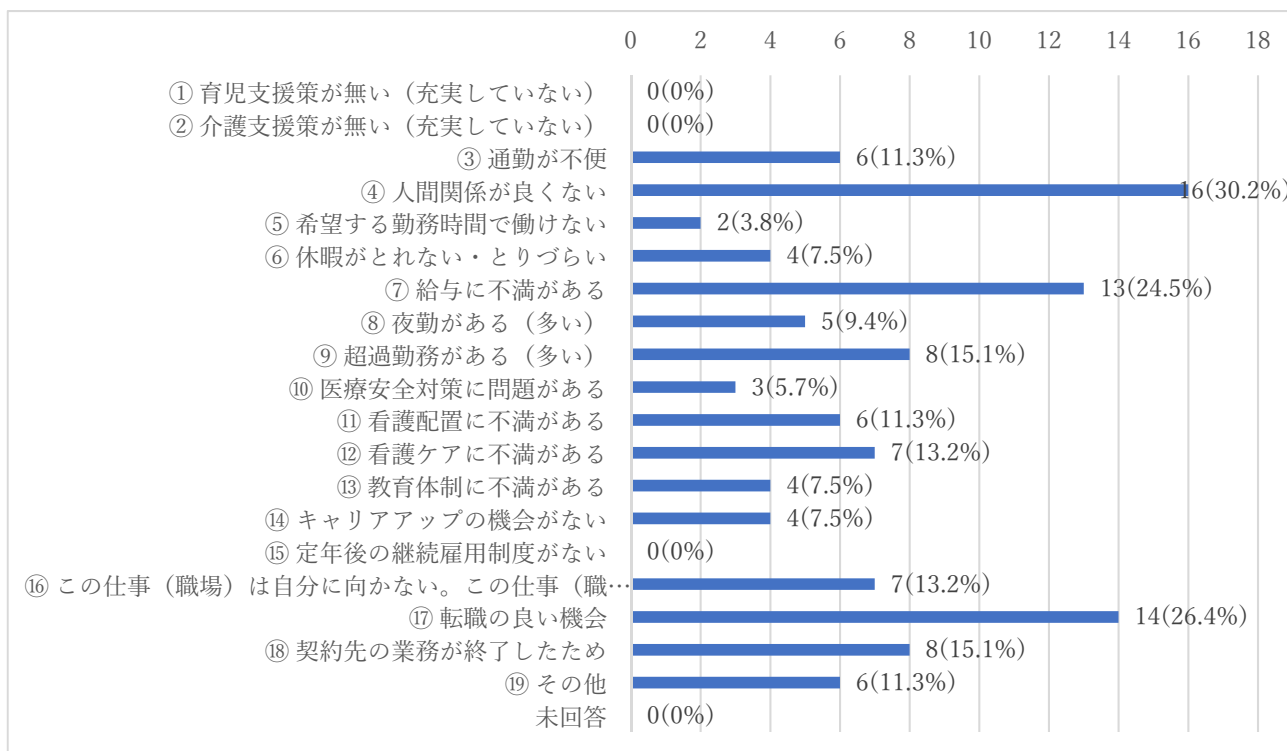
8 現在の職場から転職したい理由（主な理由3つ）

設問 6 で「他の施設で看護職として働きたい（転職したい）」と回答した 53 人に、その理由を尋ねた。

「人間関係が良くない」が 16 件（30.2%）、次いで「転職の良い機会」が 14 件（26.4%）、「給与に不満がある」が 13 件（24.5%）と続く結果となった。

図表 8-1 現在の職場から転職したい理由

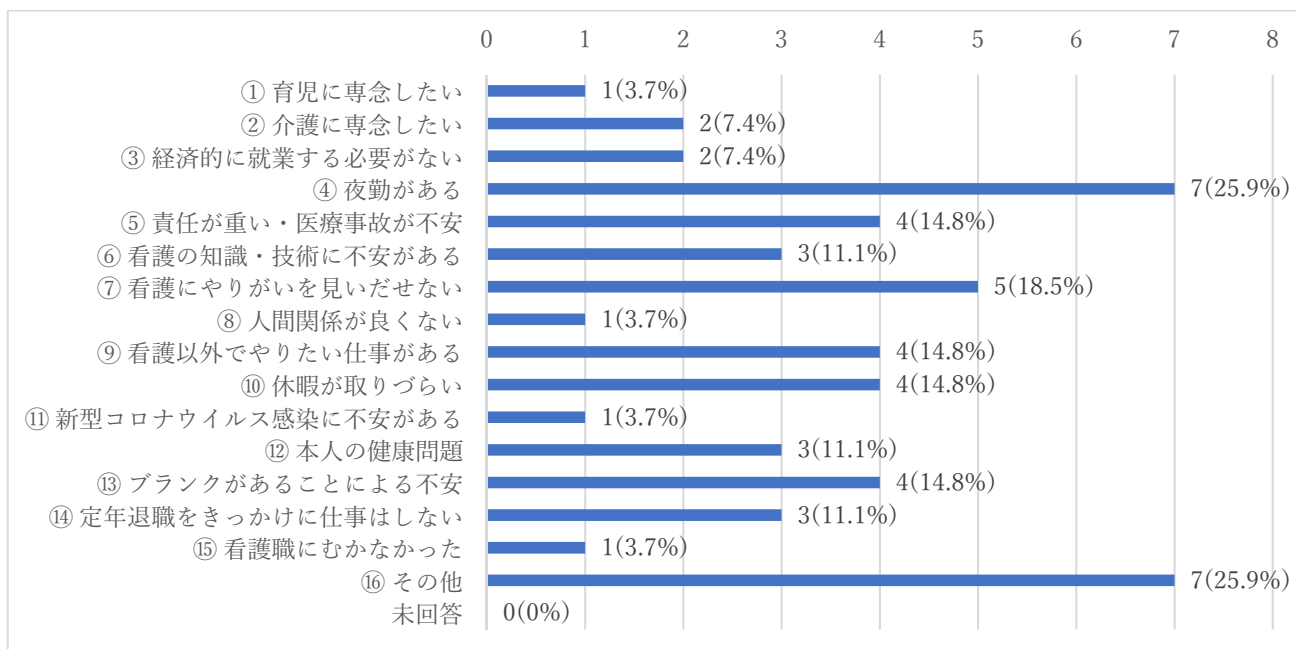
n=53



9 看護職以外での就業、仕事をしない理由（主な理由3つ）

設問6で「看護職以外の職種で働きたい」「仕事はしない」「未定」と回答した27人の理由を尋ねた。「夜勤がある」が7件（25.9%）、「看護にやりがいを見いだせない」が5件（18.5%）で、「その他」7件（25.9%）の内訳は「妊活」「孫の面倒」「体力的不安」「家事との両立が困難」などであった。

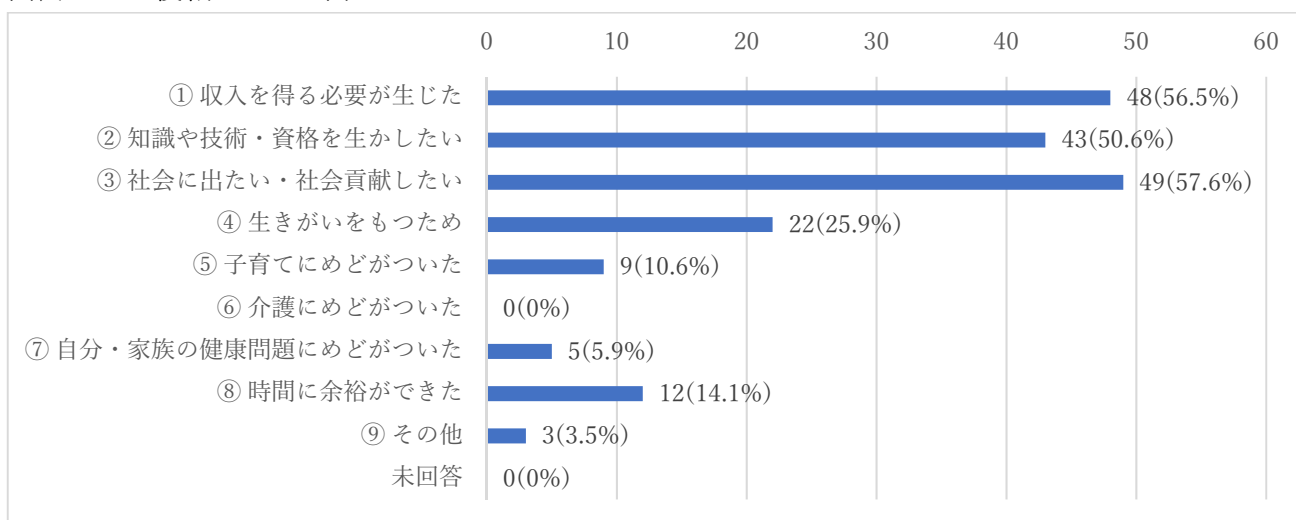
図表 9-1 就業しない理由



10 再就業（復職）したい理由（主な理由3つ）

設問6で「看護職として再就業（復職）したい」と回答した85人に、理由を尋ねた。「社会に出たい・社会貢献したい」が49件（57.6%）、次いで、「収入を得る必要が生じた」が48件（56.5%）、「知識や技術・資格を生かしたい」が43件（50.6%）となっている。

図表 10-1 復職したい理由



11 再就業（復職）時期

設問6で「看護職として再就業（復職）したい」と回答した85人に、看護職として再就業（復職）したい時期を尋ねた。1ヶ月後が30人（35.3%）、次いで3ヶ月後が23人（27.1%）となっている。

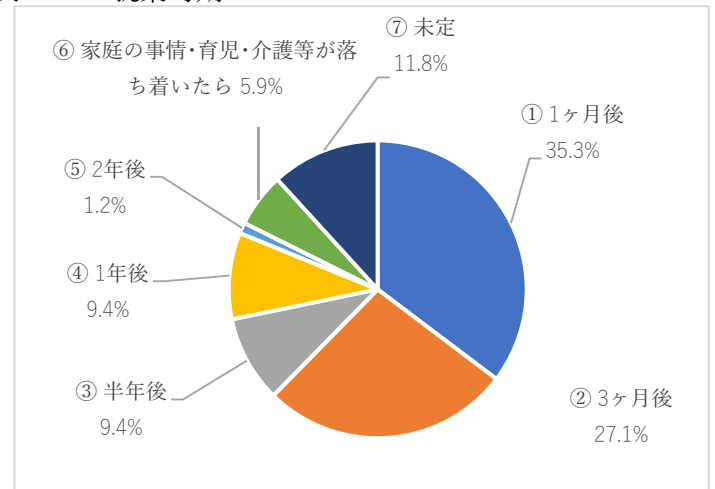
図表 11-1 就業時期

n=85

就業時期	回答数	割合
① 1ヶ月後	30	35.3%
② 3ヶ月後	23	27.1%
③ 半年後	8	9.4%
④ 1年後	8	9.4%
⑤ 2年後	1	1.2%
⑥ 家庭の事情・育児・介護等が落ち着いたら	5	5.9%
⑦ 未定	10	11.8%
総計	85	100.0%

表 11-2 就業時期

n=85



12 研修場所

設問6で「看護職として再就業（復職）したい」と回答した85人の研修を希望する場所は「医療機関・福祉施設」が41人（48.2%）と最も高く、次いで「行政機関」が31人（36.5%）、「オンライン」が9人（10.6%）となっている。

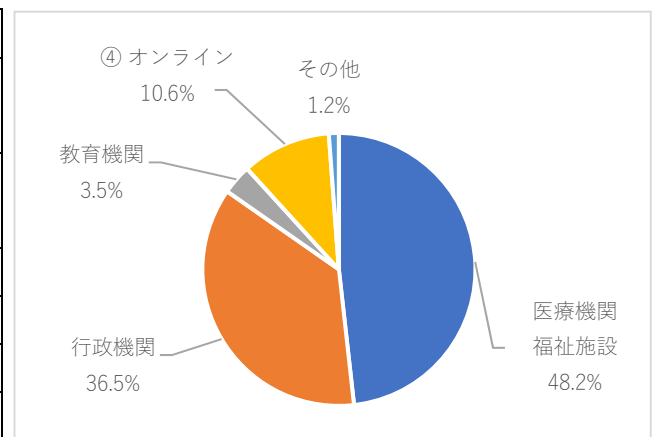
図表 12-1 研修場所

n=85

研修場所	回答数	割合
① 医療機関・福祉施設 (病院、訪問看護ST、高齢者介護・福祉施設等)	41	48.2%
② 行政機関 (公民館、ハローワーク、東京都ナースプラザ等)	31	36.5%
③ 教育機関（看護学校、大学等）	3	3.5%
④ オンライン	9	10.6%
その他	1	1.2%
総計	85	100.0%

図表 12-2

n=85



13 研修日数

未回答者2名を除く83人の希望研修日数は半日が33人(39.8%)、1日23人(27.7%)、3日8人(13.3%)で、約9割が3日以内での短期間の研修を希望している。

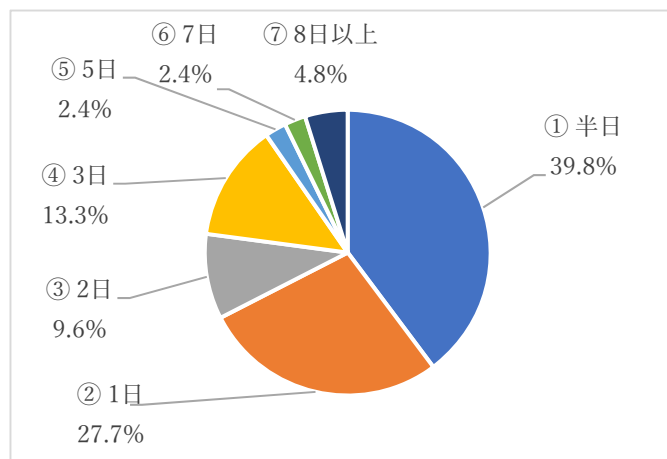
図表 13-1 研修日数

n=83

研修日数	回答数	割合
① 半日	33	39.8%
② 1日	23	27.7%
③ 2日	8	9.6%
④ 3日	11	13.3%
⑤ 5日	2	2.4%
⑥ 7日	2	2.4%
⑦ 8日以上	4	4.8%
総計	83	100.0%

図表 13-2 研修日数

n=83

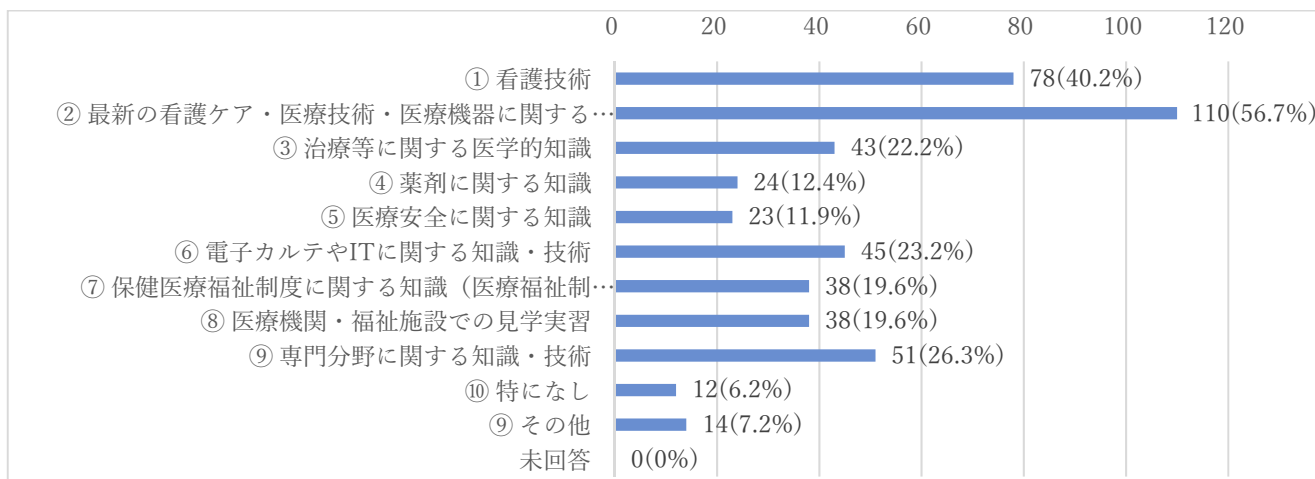


14 希望する研修内容 (主な研修3つ)

設問6で「現在の施設で看護職として働きたい」「他の施設で看護職として働きたい」「看護職として再就業(復職)したい」と回答した194人が希望する研修内容の上位は、「最新の看護ケア・医療技術・医療機器に関する情報」110件(56.7%)「看護技術」78件(40.2%)「専門分野に関する知識・技術」51件(26.3%)であった。

図表 14-1 研修内容

n=194



年齢別に見てみると、「電子カルテや IT に関する知識・技術」「医療機関・福祉施設での見学実習」は年代の上昇とともに割合が増え、「専門分野に関する知識・技術」は低くなる傾向がみられる。

図表 14-2 研修内容

n=194

	20代		30代		40代		50代		60代		回答数	
① 看護技術	6	46.2%	13	61.9%	25	51.0%	26	34.2%	8	22.9%	78	40.2%
② 最新の看護ケア・医療技術・医療機器に関する情報	5	38.5%	16	76.2%	25	51.0%	52	68.4%	12	34.3%	110	56.7%
③ 治療等に関する医学的知識	3	23.1%	5	23.8%	14	28.6%	18	23.7%	3	8.6%	43	22.2%
④ 薬剤に関する知識	2	15.4%	2	9.5%	7	14.3%	8	10.5%	5	14.3%	24	12.4%
⑤ 医療安全に関する知識	1	7.7%	1	4.8%	10	20.4%	8	10.5%	3	8.6%	23	11.9%
⑥ 電子カルテやITに関する知識・技術	1	7.7%	2	9.5%	9	18.4%	20	26.3%	13	37.1%	45	23.2%
⑦ 保健医療福祉制度に関する知識 (医療福祉制度・政策の動向、診療報酬制度など)	3	23.1%	3	14.3%	6	12.2%	19	25.0%	7	20.0%	38	19.6%
⑧ 医療機関・福祉施設での見学実習	2	15.4%	3	14.3%	7	14.3%	16	21.1%	10	28.6%	38	19.6%
⑨ 専門分野に関する知識・技術	7	53.8%	8	38.1%	14	28.6%	15	19.7%	7	20.0%	51	26.3%
⑩ 特になし	0	0.0%	1	4.8%	3	6.1%	3	3.9%	5	14.3%	12	6.2%
⑪ その他	0	0.0%	1	4.8%	5	10.2%	3	3.9%	5	14.3%	14	7.2%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	13		21		49		76		35		194	

15 具体的な研修

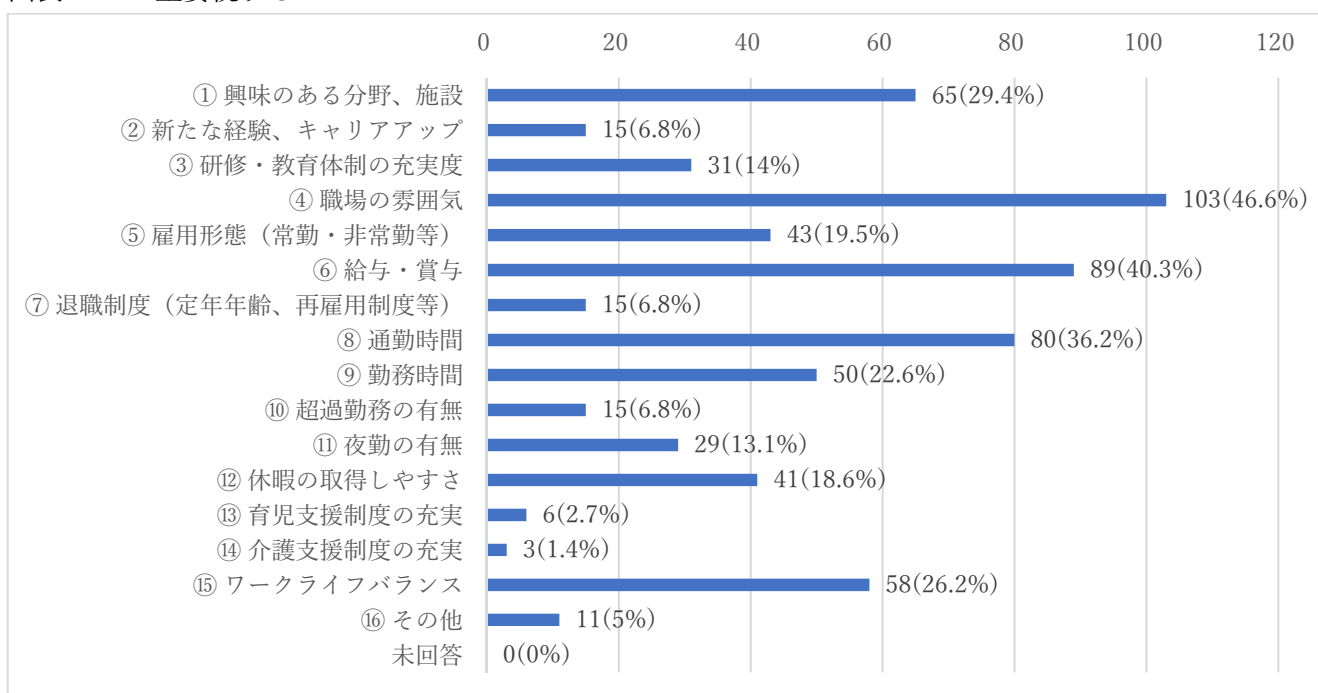
<資料>具体的な研修内容参照

16 就業にあたって重要視すること (主な理由3つ)

就業にあたって重要視することは、「職場の雰囲気」が、103件(46.6%)、次いで「給与・賞与」が89件(40.3%)、「通勤時間」80件(36.2%)、「興味ある分野、施設」65件(29.4%)であった。

図表 16-1 重要視すること

n=221



年代別の比較を図表 16-2 に示す。

「職場の雰囲気」「給与・賞与」は、年代に関係なく回答の上位である。30代 40代では「勤務時間」の割合が高くなる傾向が見られ、出産、育児などのライフイベントが関係していると思われる。

表 16-2 重要視すること（年代別）

n=221

	20代		30代		40代		50代		60代		回答数	
① 興味のある分野、施設	5	33.3%	4	19.0%	18	32.1%	26	31.0%	12	26.7%	65	29.4%
② 新たな経験、キャリアアップ	3	20.0%	3	14.3%	5	8.9%	4	4.8%	0	0.0%	15	6.8%
③ 研修・教育体制の充実度	4	26.7%	3	14.3%	13	23.2%	10	11.9%	1	2.2%	31	14.0%
④ 職場の雰囲気	12	80.0%	10	47.6%	18	32.1%	43	51.2%	20	44.4%	103	46.6%
⑤ 雇用形態（常勤・非常勤等）	1	6.7%	5	23.8%	9	16.1%	16	19.0%	12	26.7%	43	19.5%
⑥ 給与・賞与	6	40.0%	5	23.8%	20	35.7%	44	52.4%	14	31.1%	89	40.3%
⑦ 退職制度（定年年齢、再雇用制度等）	0	0.0%	0	0.0%	4	7.1%	8	9.5%	3	6.7%	15	6.8%
⑧ 通勤時間	2	13.3%	8	38.1%	24	42.9%	26	31.0%	20	44.4%	80	36.2%
⑨ 勤務時間	0	0.0%	8	38.1%	19	33.9%	15	17.9%	8	17.8%	50	22.6%
⑩ 超過勤務の有無	2	13.3%	2	9.5%	2	3.6%	5	6.0%	4	8.9%	15	6.8%
⑪ 夜勤の有無	0	0.0%	1	4.8%	7	12.5%	14	16.7%	7	15.6%	29	13.1%
⑫ 休暇の取得しやすさ	1	6.7%	4	19.0%	7	12.5%	15	17.9%	14	31.1%	41	18.6%
⑬ 育児支援制度の充実	0	0.0%	2	9.5%	4	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	6	2.7%
⑭ 介護支援制度の充実	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	1	1.2%	1	2.2%	3	1.4%
⑮ ワークライフバランス	9	60.0%	3	14.3%	15	26.8%	19	22.6%	12	26.7%	58	26.2%
⑯ その他	0	0.0%	2	9.5%	0	0.0%	4	4.8%	5	11.1%	11	5.0%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	15		21		56		84		45		221	

17 希望する雇用形態

設問に回答した 219 人のうち、看護職として転職または再就業する場合の、希望する雇用形態は、「常勤（雇用期間の定めなし）」が 132 人（60.3%）、「非常勤（雇用期間の定めあり）」が 69 人（31.5%）となっている。

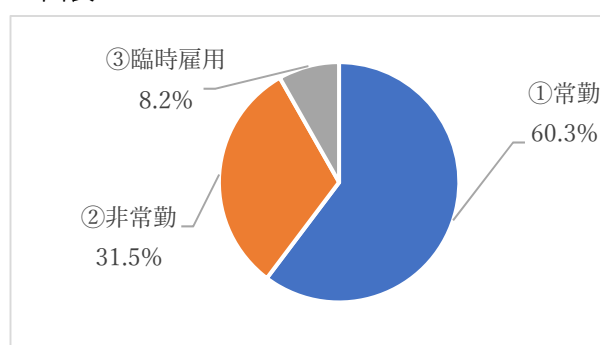
図表 17-1 雇用形態

n=219

雇用形態	回答数	割合
① 常勤（雇用期間の定めなし）	132	60.3%
② 非常勤（雇用期間の定めあり）	69	31.5%
③ イベント救護などの臨時雇用（雇用期間 1 か月未満）	18	8.2%
総計	219	100.0%

図表 17-2

n=219



年代別の比較を図表 17-3 に示す。

50代までは6割以上が常勤での雇用を希望していることがわかる。

図表 17-3 雇用形態（年代別）

n=219

勤務形態	20代		30代		40代		50代		60代		合計	
① 常勤	14	93.3%	13	61.9%	34	61.8%	56	67.5%	15	33.3%	132	60.3%
② 非常勤		0.0%	7	33.3%	18	32.7%	21	25.3%	23	51.1%	69	31.5%
③ 臨時雇用	1	6.7%	1	4.8%	3	5.5%	6	7.2%	7	15.6%	18	8.2%
総計	15	100.0%	21	100.0%	55	100.0%	83	100.0%	45	100.0%	219	100.0%

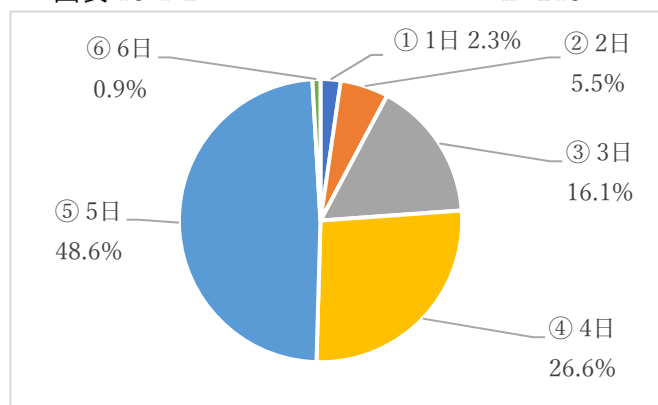
18-1 希望する勤務日数

希望する勤務日数は、5日が106人（48.6%）、次いで4日58人（26.6%）、3日が35人（16.1%）となっている。

図表 18-1-1 勤務日数 n=218

勤務日数	回答数	割合
① 1日	5	2.3%
② 2日	12	5.5%
③ 3日	35	16.1%
④ 4日	58	26.6%
⑤ 5日	106	48.6%
⑥ 6日	2	0.9%
総計	218	100.0%

図表 18-1-2 n=218



20代～50代までは、週5日勤務を希望する割合が高いが、60代になると3日や4日を希望する割合が上位となる。

図表 18-1-3 勤務日数（年代別）

n=218

勤務日数	20代		30代		40代		50代		60代		合計	
① 1日	1	6.7%	2	9.5%	1	1.8%	0	0.0%	1	2.3%	5	2.3%
② 2日	0	0.0%	0	0.0%	5	9.1%	2	2.4%	5	11.4%	12	5.5%
③ 3日	0	0.0%	3	14.3%	10	18.2%	8	9.6%	14	31.8%	35	16.1%
④ 4日	4	26.7%	5	23.8%	13	23.6%	23	27.7%	13	29.5%	58	26.6%
⑤ 5日	9	60.0%	11	52.4%	26	47.3%	49	59.0%	11	25.0%	106	48.6%
⑥ 6日	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	2	0.9%
総計	15	100.0%	21	100.0%	55	100.0%	83	100.0%	44	100.0%	218	100.0%

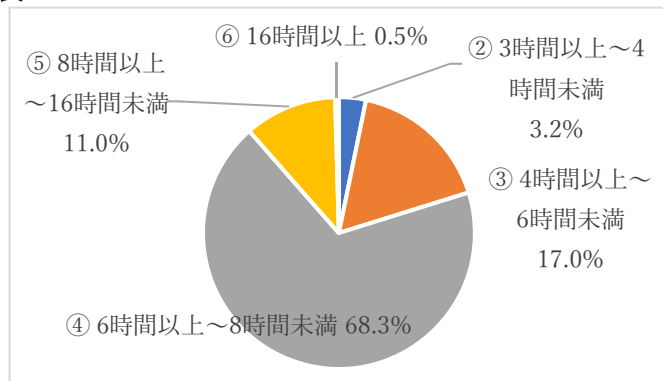
18-2 希望する1日の実働時間

希望する勤務時間は6時間以上～8時間未満が149人（68.3%）、次いで4時間以上～6時間未満が37人（17.0%）、8時間以上～16時間未満24人（11.0%）が続く結果となった。年代により割合に変化はあるが、希望順位に変化はみられない。

図表 18-2-1 実働時間 n=218

実働時間	回答数	割合
② 3時間以上～4時間未満	7	3.2%
③ 4時間以上～6時間未満	37	17.0%
④ 6時間以上～8時間未満	149	68.3%
⑤ 8時間以上～16時間未満	24	11.0%
⑥ 16時間以上	1	0.5%
総計	218	100.0%

図表 18-2-2 n=218



図表 18-2-3 実働時間（年代別） n=218

勤務時間	20代		30代		40代		50代		60代		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
② 3時間以上～4時間未満	0	0.0%	0	0.0%	4	7.3%	1	1.2%	2	4.4%	7	3.2%
③ 4時間以上～6時間未満	0	0.0%	6	28.6%	11	20.0%	12	14.6%	8	17.8%	37	17.0%
④ 6時間以上～8時間未満	12	80.0%	12	57.1%	35	63.6%	61	74.4%	29	64.4%	149	68.3%
⑤ 8時間以上～16時間未満	3	20.0%	3	14.3%	5	9.1%	7	8.5%	6	13.3%	24	11.0%
⑥ 16時間以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	1	0.5%
総計	15	100.0%	21	100.0%	55	100.0%	82	100.0%	45	100.0%	218	100.0%

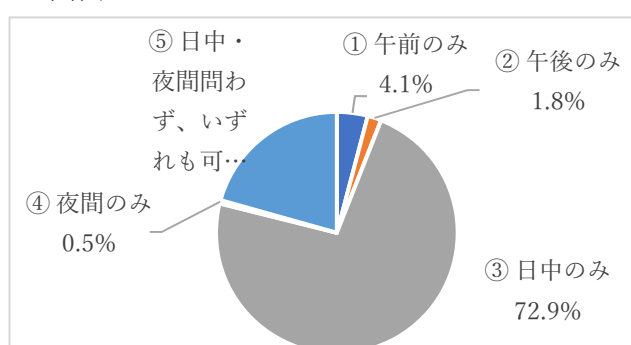
18-3 希望する勤務時間帯

「日中のみ」が2,983人（73.7%）と最も多く、「日中・夜間問わず、いずれも可」は692人（17.1%）であった。

図表 18-3-1 勤務時間帯 n=218

勤務時間帯	回答数	割合
① 午前のみ	9	4.1%
② 午後のみ	4	1.8%
③ 日中のみ	159	72.9%
④ 夜間のみ	1	0.5%
⑤ 日中・夜間問わず、いずれも可	45	20.6%
総計	218	100.0%

図表 18-3-2 n=218



年代別の図表を 18-3-3 に示す。

「日中・夜間問わず、いずれも可」は、20代でも4割にとどまっており、全年代で日勤のみを希望する割合が高く、夜勤が負担となっていることがわかる。

図表 18-3-3 勤務時間帯（年代別） n=218

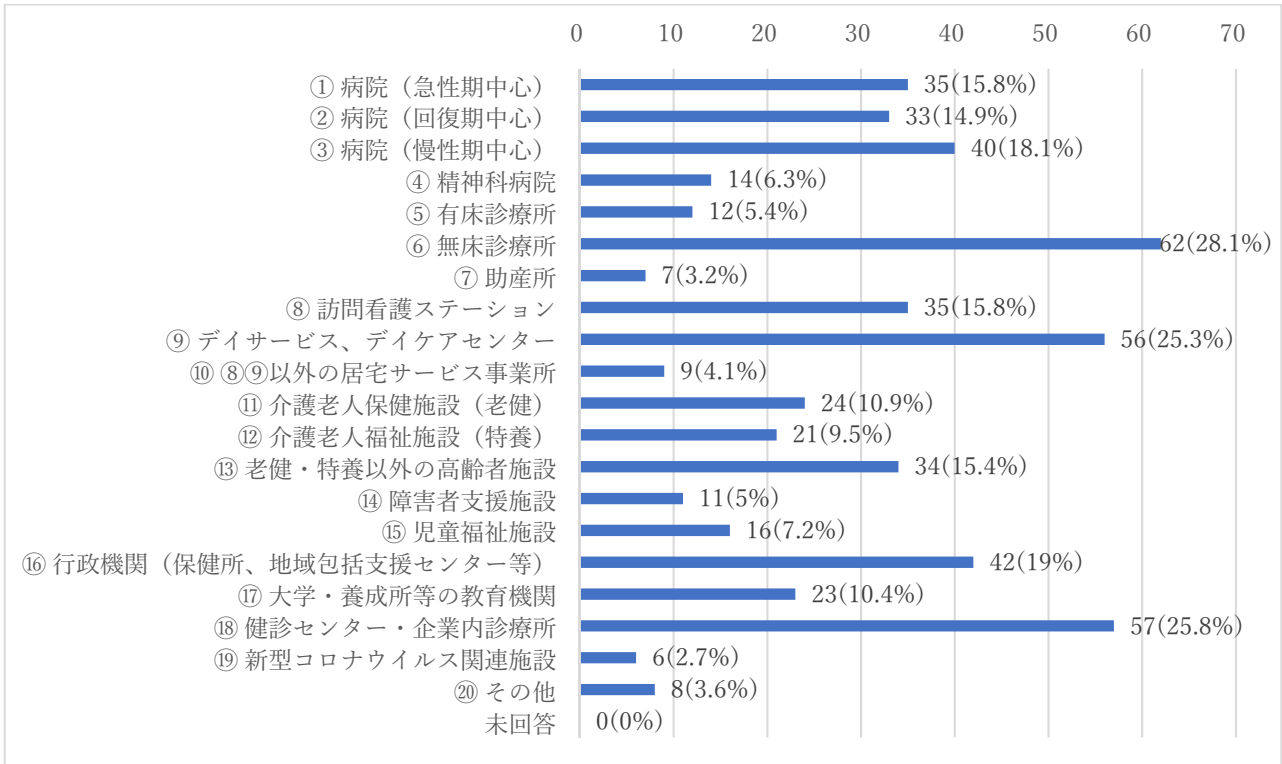
勤務時間帯	20代		30代		40代		50代		60代		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
① 午前のみ	0	0.0%	2	9.5%	6	10.9%	0	0.0%	1	2.2%	9	4.1%
② 午後のみ	0	0.0%	1	4.8%	1	1.8%	2	2.4%	0	0.0%	4	1.8%
③ 日中のみ	9	60.0%	13	61.9%	39	70.9%	61	74.4%	37	82.2%	159	72.9%
④ 夜間のみ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	1	0.5%
⑤ 日中・夜間問わず、いずれも可	6	40.0%	5	23.8%	9	16.4%	18	22.0%	7	15.6%	45	20.6%
総計	15	100.0%	21	100.0%	55	100.0%	82	100.0%	45	100.0%	218	100.0%

19 希望する施設種別（主な理由3つ）

再就業または転職する場合に希望する施設種別は、「無床診療所」が62件（28.1%）と最も多く、次いで「健診センター・企業内診療所」が57件（25.8%）、「デイサービス・デイケアセンター」が56件（25.3%）となっている。

図表 19-1 希望する施設種別

n=221



希望する施設種別を年代別で比較した結果を図表 19-2 に示す。

「健診センター・企業内診療所」「無床診療所」は、ほぼ全年代共通で希望する割合が高い傾向にある。30代では、病院を希望する割合が高いが、40代以降では、デイサービス・デイケアセンター、介護老人福祉施設などの、病院以外の種別を希望する割合が増える傾向がみられる。

図表 19-2 希望する施設種別（年代別）

n=221

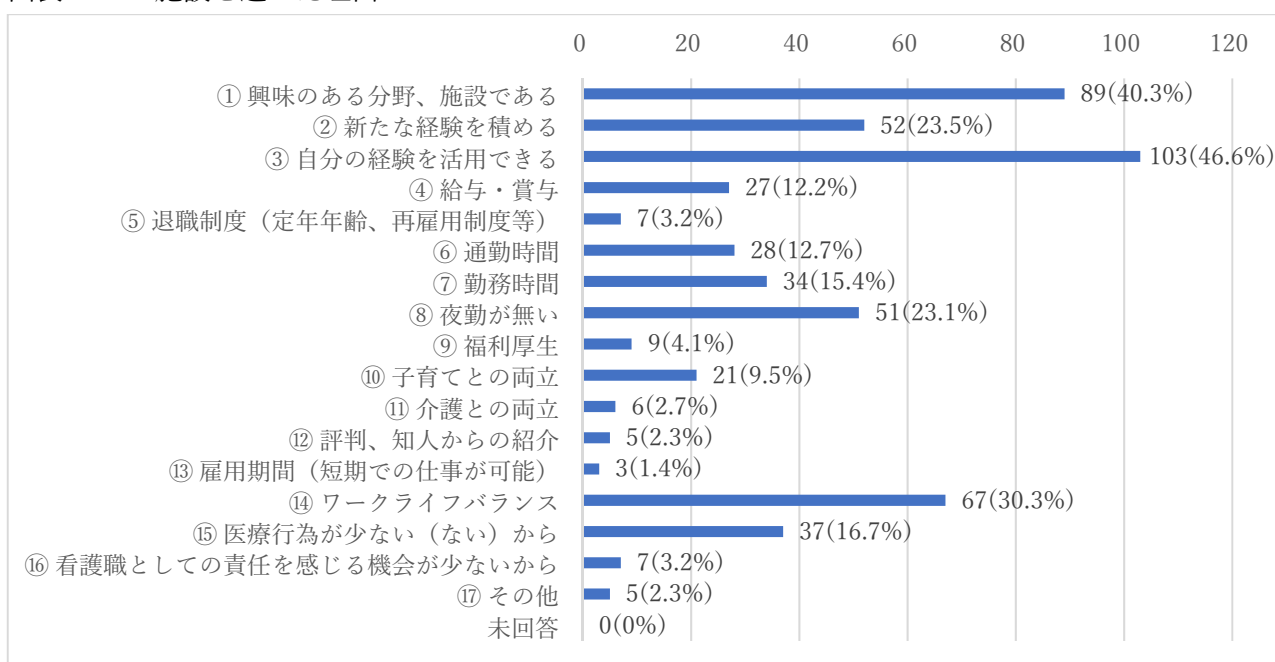
	20代		30代		40代		50代		60代		回答数	
① 病院（急性期中心）	3	20.0%	11	52.4%	12	21.4%	5	6.0%	4	8.9%	35	15.8%
② 病院（回復期中心）	3	20.0%	11	52.4%	10	17.9%	6	7.1%	3	6.7%	33	14.9%
③ 病院（慢性期中心）	3	20.0%	5	23.8%	14	25.0%	14	16.7%	4	8.9%	40	18.1%
④ 精神科病院	0	0.0%	2	9.5%	5	8.9%	4	4.8%	3	6.7%	14	6.3%
⑤ 有床診療所	2	13.3%	1	4.8%	4	7.1%	3	3.6%	2	4.4%	12	5.4%
⑥ 無床診療所	1	6.7%	4	19.0%	15	26.8%	31	36.9%	11	24.4%	62	28.1%
⑦ 助産所	1	6.7%	1	4.8%	2	3.6%	3	3.6%	0	0.0%	7	3.2%
⑧ 訪問看護ステーション	1	6.7%	4	19.0%	10	17.9%	16	19.0%	4	8.9%	35	15.8%
⑨ デイサービス、デイケアセンター	3	20.0%	2	9.5%	8	14.3%	24	28.6%	19	42.2%	56	25.3%
⑩ ⑧⑨以外の居宅サービス事業所	0	0.0%	1	4.8%	1	1.8%	6	7.1%	1	2.2%	9	4.1%
⑪ 介護老人保健施設（老健）	2	13.3%	1	4.8%	5	8.9%	9	10.7%	7	15.6%	24	10.9%
⑫ 介護老人福祉施設（特養）	1	6.7%	0	0.0%	8	14.3%	7	8.3%	5	11.1%	21	9.5%
⑬ ⑪⑫以外の高齢者施設	1	6.7%	1	4.8%	8	14.3%	16	19.0%	8	17.8%	34	15.4%
⑭ 障害者支援施設	2	13.3%	1	4.8%	1	1.8%	5	6.0%	2	4.4%	11	5.0%
⑮ 児童福祉施設	0	0.0%	0	0.0%	3	5.4%	9	10.7%	4	8.9%	16	7.2%
⑯ 行政機関（保健所、地域包括支援センター等）	4	26.7%	3	14.3%	6	10.7%	15	17.9%	14	31.1%	42	19.0%
⑰ 大学・養成所等の教育機関	3	20.0%	1	4.8%	5	8.9%	8	9.5%	6	13.3%	23	10.4%
⑱ 健診センター・企業内診療所	3	20.0%	7	33.3%	10	17.9%	23	27.4%	14	31.1%	57	25.8%
⑲ 新型コロナウイルス関連施設	0	0.0%	1	4.8%	1	1.8%	3	3.6%	1	2.2%	6	2.7%
⑳ その他	1	6.7%	0	0.0%	4	7.1%	3	3.6%	0	0.0%	8	3.6%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	15		21		56		84		45		221	

20 希望する施設を選んだ理由（主な理由3つ）

希望する施設を選んだ理由は「自分の経験を活用できる」が103件（46.6%）と最も多く、次いで「興味のある分野、施設である」が89件（40.3%）、「ワークライフバランス」が67件（30.3%）と続く。

図表 20-1 施設を選んだ理由

n=221



年代別に比較してみると、「興味のある分野、施設である」「新たな経験を積める」は、年代の上昇とともに割合が減少する。

また、「通勤時間」「夜勤が無い」など、体力的負担が少ないことを重視する割合は、年代の上昇とともに増加し、30代40代では「子育てとの両立」の割合が高くなる特徴が見られる。

図表 20-2 施設を選んだ理由（年代別）

n=221

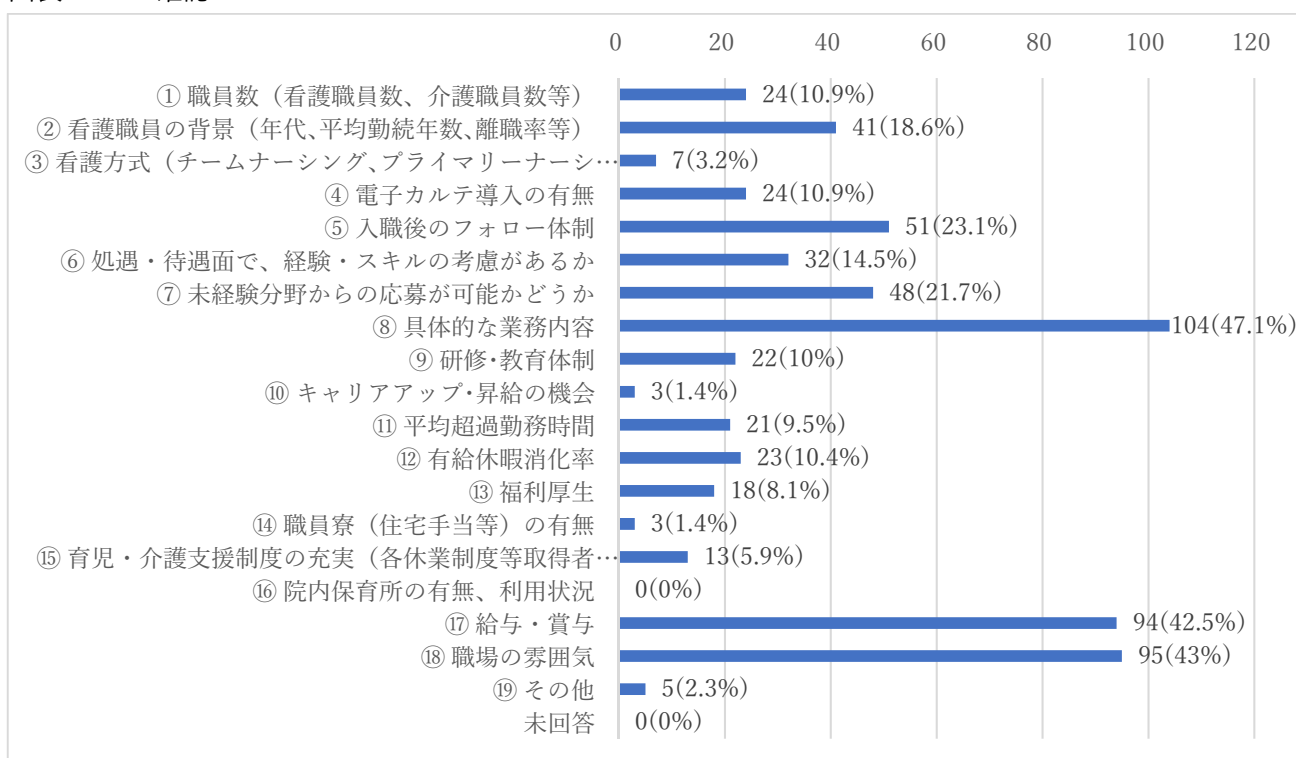
	20代	30代	40代	50代	60代	回答数
① 興味のある分野、施設である	9 60.0%	10 47.6%	27 48.2%	30 35.7%	13 28.9%	89 40.3%
② 新たな経験を積める	5 33.3%	10 47.6%	15 26.8%	16 19.0%	6 13.3%	52 23.5%
③ 自分の経験を活用できる	4 26.7%	11 52.4%	26 46.4%	39 46.4%	23 51.1%	103 46.6%
④ 給与・賞与	2 13.3%	1 4.8%	4 7.1%	15 17.9%	5 11.1%	27 12.2%
⑤ 退職制度（定年年齢、再雇用制度等）	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	4 4.8%	2 4.4%	7 3.2%
⑥ 通勤時間	1 6.7%	1 4.8%	8 14.3%	11 13.1%	7 15.6%	28 12.7%
⑦ 勤務時間	0 0.0%	3 14.3%	10 17.9%	13 15.5%	8 17.8%	34 15.4%
⑧ 夜勤が無い	1 6.7%	3 14.3%	14 25.0%	22 26.2%	11 24.4%	51 23.1%
⑨ 福利厚生	0 0.0%	2 9.5%	1 1.8%	5 6.0%	1 2.2%	9 4.1%
⑩ 子育てとの両立	0 0.0%	7 33.3%	13 23.2%	0 0.0%	1 2.2%	21 9.5%
⑪ 介護との両立	0 0.0%	0 0.0%	2 3.6%	2 2.4%	2 4.4%	6 2.7%
⑫ 評判、知人からの紹介	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	1 1.2%	3 6.7%	5 2.3%
⑬ 雇用期間（短期での仕事が可能）	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%	1 2.2%	3 1.4%
⑭ ワークライフバランス	5 33.3%	7 33.3%	16 28.6%	25 29.8%	14 31.1%	67 30.3%
⑮ 医療行為が少ない（ない）から	3 20.0%	0 0.0%	4 7.1%	18 21.4%	12 26.7%	37 16.7%
⑯ 看護職としての責任を感じる機会が少ないから	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 3.6%	3 6.7%	7 3.2%
⑰ その他	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%	3 3.6%	1 2.2%	5 2.3%
未回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	15	21	56	84	45	221

21 確認したいこと（主な理由3つ）

求人施設へ応募する前に確認したいことは、「具体的な業務内容」が104件（47.1%）と最も多く、次いで「職場の雰囲気」95件（43%）、「給与・賞与」94件（42.5%）となっている。

図表 21-1 確認したいこと

n=221



年代別に見てみると、「具体的な業務内容」は、年代の上昇とともに割合が増える傾向にある。また、年代によって割合は異なるが、回答の上位3つは「具体的な業務内容」「職場の雰囲気」「給与・賞与」であるが、30代では「給与・賞与」の割合が減少し、「未経験分野からの応募が可能かどうか」の割合が増えている。

図表 21-2 確認したいこと（年代別）

n=221

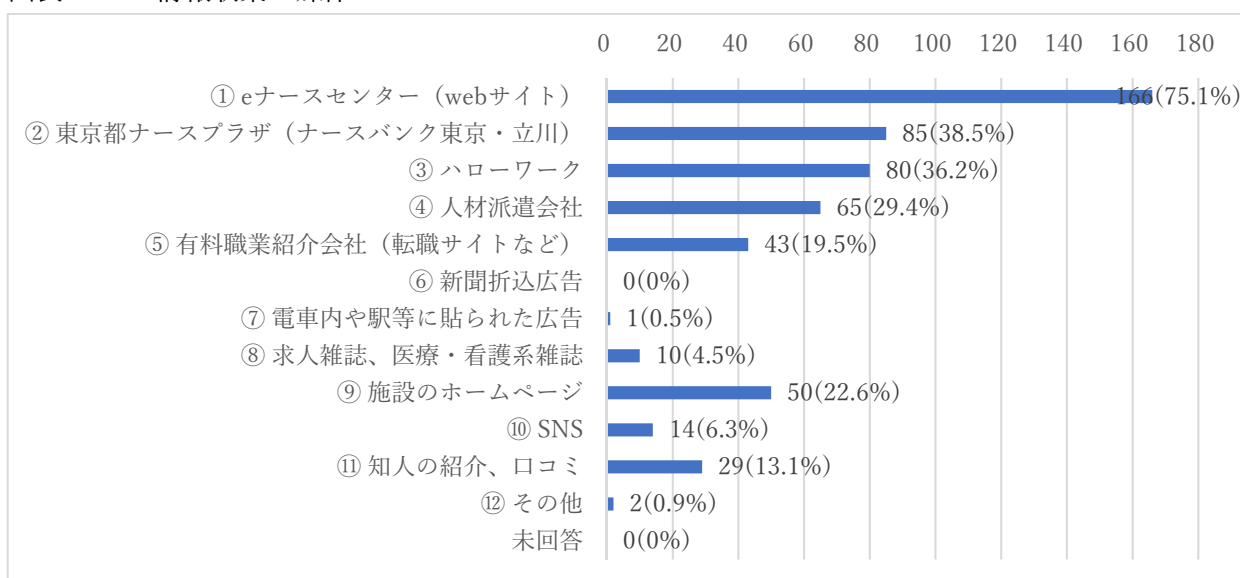
	20代	割合	30代	割合	40代	割合	50代	割合	60代	割合	回答数
① 職員数（看護職員数、介護職員数等）	1	6.7%	1	4.8%	7	12.5%	9	10.7%	6	13.3%	24
② 看護職員の背景（年代、平均勤続年数、離職率等）	1	6.7%	4	19.0%	13	23.2%	16	19.0%	7	15.6%	41
③ 看護方式（チームナース、プライマリナース等）	2	13.3%	1	4.8%	1	1.8%	2	2.4%	1	2.2%	7
④ 電子カルテ導入の有無	1	6.7%	4	19.0%	5	8.9%	7	8.3%	7	15.6%	24
⑤ 入職後のフォロー体制	9	60.0%	4	19.0%	16	28.6%	16	19.0%	6	13.3%	51
⑥ 処遇・待遇面で、経験・スキルの考慮があるか	3	20.0%	3	14.3%	7	12.5%	17	20.2%	2	4.4%	32
⑦ 未経験分野からの応募が可能かどうか	4	26.7%	9	42.9%	17	30.4%	14	16.7%	4	8.9%	48
⑧ 具体的な業務内容	5	33.3%	6	28.6%	24	42.9%	37	44.0%	32	71.1%	104
⑨ 研修・教育体制	1	6.7%	3	14.3%	9	16.1%	7	8.3%	2	4.4%	22
⑩ キャリアアップ・昇給の機会	0	0.0%	0	0.0%	2	3.6%	1	1.2%	0	0.0%	3
⑪ 平均超過勤務時間	2	13.3%	2	9.5%	8	14.3%	6	7.1%	3	6.7%	21
⑫ 有給休暇消化率	0	0.0%	0	0.0%	5	8.9%	13	15.5%	5	11.1%	23
⑬ 福利厚生	4	26.7%	2	9.5%	3	5.4%	9	10.7%	0	0.0%	18
⑭ 職員寮（住宅手当等）の有無	0	0.0%	2	9.5%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	3
⑮ 育児・介護支援制度の充実（各休業制度等取得者数等）	0	0.0%	2	9.5%	5	8.9%	3	3.6%	3	6.7%	13
⑯ 院内保育所の有無、利用状況	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
⑰ 給与・賞与	5	33.3%	4	19.0%	19	33.9%	46	54.8%	20	44.4%	94
⑱ 職場の雰囲気	7	46.7%	11	52.4%	21	37.5%	31	36.9%	25	55.6%	95
⑲ その他	0	0.0%	1	4.8%	0	0.0%	3	3.6%	1	2.2%	5
未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	15		21		56		84		45		221

22 情報収集の媒体（主に利用する3つ）

e ナースセンターを除き、就職活動で利用する媒体は、東京都ナースプラザが 85 件（38.5%）、次いでハローワークが 80 件（36.2%）、人材派遣会社が 65 件（36.2%）となっている。

図表 22-1 情報収集の媒体

n=221



年代別に比較してみると、「ハローワーク」「知人の紹介、口コミ」は年代の上昇とともに増える傾向がある。30代では、「人材派遣会社」10件（47.6%）と「施設のホームページ」の割合が他の年代と比較して高い傾向にある。

図表 22-2 情報収集の媒体（年代別）

n=221

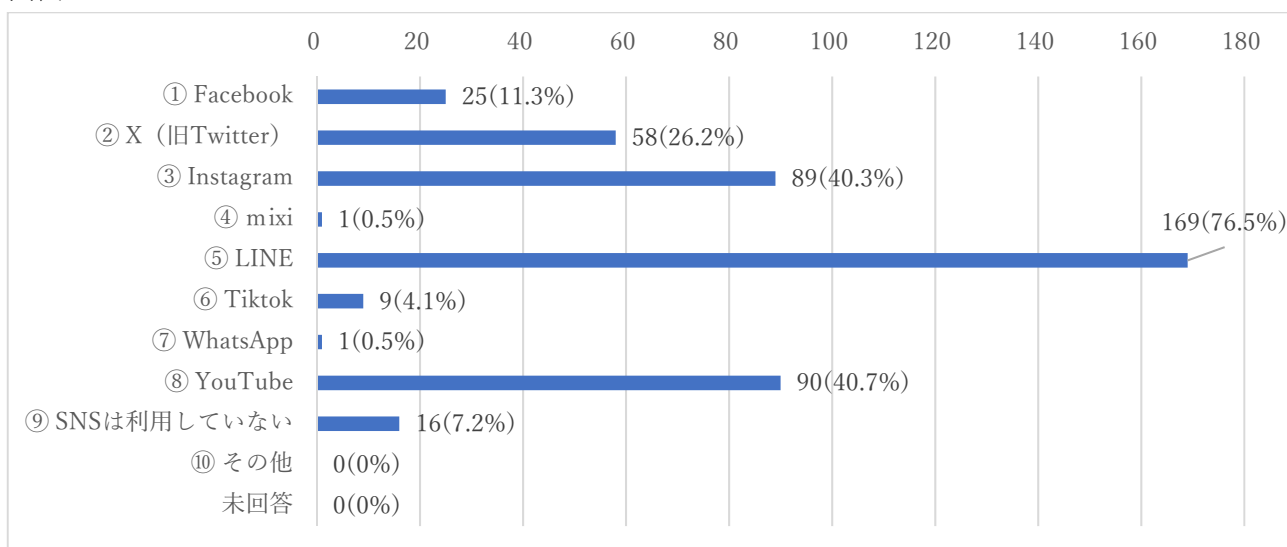
	20代		30代		40代		50代		60代		回答数	
① eナースセンター（webサイト）	12	80.0%	15	71.4%	41	73.2%	63	75.0%	35	77.8%	166	75.1%
② 東京都ナースプラザ（ナースバンク東京・立川）	3	20.0%	7	33.3%	23	41.1%	34	40.5%	18	40.0%	85	38.5%
③ ハローワーク	2	13.3%	7	33.3%	16	28.6%	31	36.9%	24	53.3%	80	36.2%
④ 人材派遣会社	3	20.0%	10	47.6%	16	28.6%	22	26.2%	14	31.1%	65	29.4%
⑤ 有料職業紹介会社（転職サイトなど）	4	26.7%	3	14.3%	12	21.4%	18	21.4%	6	13.3%	43	19.5%
⑥ 新聞折込広告	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
⑦ 電車内や駅等に貼られた広告	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	1	0.5%
⑧ 求人雑誌、医療・看護系雑誌	0	0.0%	1	4.8%	2	3.6%	5	6.0%	2	4.4%	10	4.5%
⑨ 施設のホームページ	1	6.7%	8	38.1%	11	19.6%	20	23.8%	10	22.2%	50	22.6%
⑩ SNS	1	6.7%	0	0.0%	4	7.1%	6	7.1%	3	6.7%	14	6.3%
⑪ 知人の紹介、口コミ	1	6.7%	1	4.8%	7	12.5%	12	14.3%	8	17.8%	29	13.1%
⑫ その他	1	6.7%	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	15		21		56		84		45		221	

23 よく利用する SNS（主に利用する 3 つ）

よく利用する SNS は、LINE が最も多く 169 件（76.5%）。以下、YouTube90 件（40.7%）Instagram89 件（40.3%）、X（旧 Twitter）58 件（26.2%）となっている。

図表 23-1 SNS

n=221



LINE は全年代で割合が最も高く、YouTube も全年代で高い傾向にある。X (旧 Twitter) や Instagram の割合は、若年層ほど割合が高い。

図表 23-2 SNS (年代別)

n=221

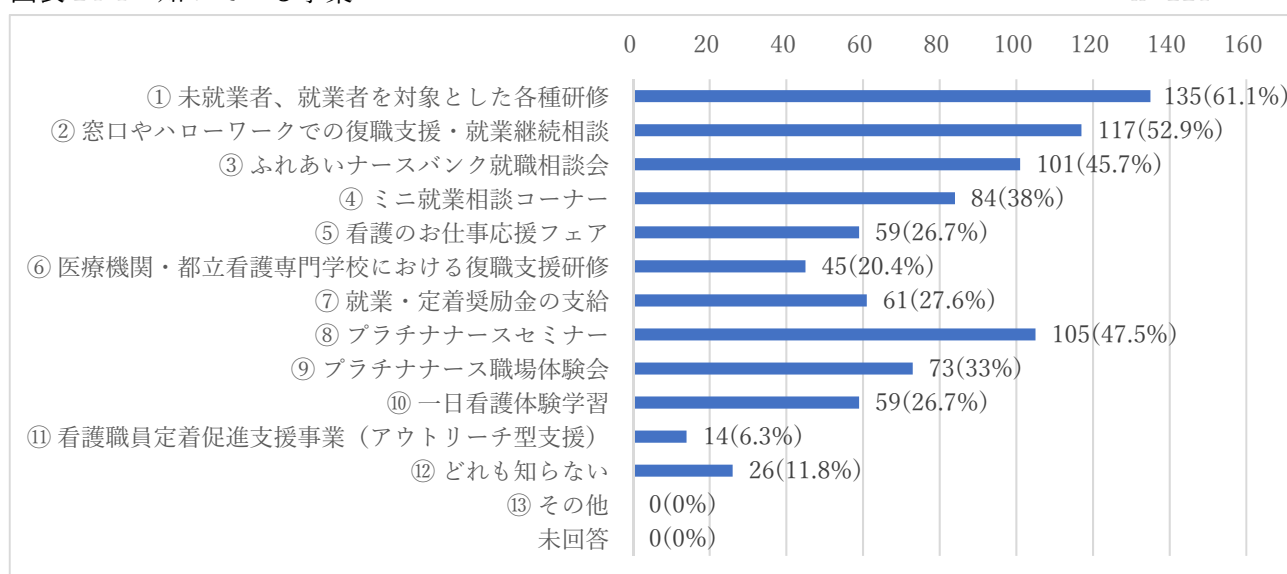
	20代	割合	30代	割合	40代	割合	50代	割合	60代	割合	回答数
① Facebook	0	0.0%	2	9.5%	10	17.9%	6	7.1%	7	15.6%	25
② X (旧Twitter)	8	53.3%	9	42.9%	18	32.1%	19	22.6%	4	8.9%	58
③ Instagram	11	73.3%	12	57.1%	29	51.8%	28	33.3%	9	20.0%	89
④ mixi	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.2%	1
⑤ LINE	10	66.7%	15	71.4%	45	80.4%	62	73.8%	37	82.2%	169
⑥ Tiktok	0	0.0%	1	4.8%	3	5.4%	5	6.0%	0	0.0%	9
⑦ WhatsApp	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%	0	0.0%	1
⑧ YouTube	7	46.7%	12	57.1%	17	30.4%	30	35.7%	24	53.3%	90
⑨ SNSは利用していない	1	6.7%	0	0.0%	2	3.6%	10	11.9%	3	6.7%	16
⑩ その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	15		21		56		84		45		221

24 知っているナースプラザ事業 (知っているもの全て)

知っているナースプラザ事業は、「未就業者、就業者を対象とした各種研修」が 135 件 (61.1%)、次いで「ふれあいナースバンク就職相談会」が 2,381 件 (58.5%)、「窓口やハローワークでの復職支援・就業継続相談復職支援・就業継続相談」が 2,231 件 (54.8%) と続く結果となった。

図表 24-1 知っている事業

n=221



東京都ナースプラザ事業を「どれも知らない」と回答した割合は、若年層ほど高い傾向にあることがわかる。

図表 24-2 知っている事業（年代別）

n=221

	20代		30代		40代		50代		60代		回答数	
① 未就業者、就業者を対象とした各種研修	6	40.0%	13	61.9%	36	64.3%	52	61.9%	28	62.2%	135	61.1%
② 窓口やハローワークでの復職支援・就業継続相談	9	60.0%	10	47.6%	30	53.6%	49	58.3%	19	42.2%	117	52.9%
③ ふれあいナースバンク就職相談会	7	46.7%	8	38.1%	31	55.4%	45	53.6%	10	22.2%	101	45.7%
④ ミニ就業相談コーナー	4	26.7%	6	28.6%	23	41.1%	37	44.0%	14	31.1%	84	38.0%
⑤ 看護のお仕事応援フェア	4	26.7%	3	14.3%	17	30.4%	23	27.4%	12	26.7%	59	26.7%
⑥ 医療機関・都立看護専門学校における復職支援研修	2	13.3%	5	23.8%	11	19.6%	18	21.4%	9	20.0%	45	20.4%
⑦ 就業・定着奨励金の支給	2	13.3%	5	23.8%	14	25.0%	26	31.0%	14	31.1%	61	27.6%
⑧ ブラチナナースセミナー	2	13.3%	4	19.0%	21	37.5%	52	61.9%	26	57.8%	105	47.5%
⑨ ブラチナナース職場体験会	2	13.3%	2	9.5%	11	19.6%	41	48.8%	17	37.8%	73	33.0%
⑩ 一日看護体験学習	3	20.0%	6	28.6%	13	23.2%	25	29.8%	12	26.7%	59	26.7%
⑪ 看護職員定着促進支援事業（アトリー型支援）	0	0.0%	0	0.0%	3	5.4%	7	8.3%	4	8.9%	14	6.3%
⑫ どれも知らない	4	26.7%	5	23.8%	5	8.9%	8	9.5%	4	8.9%	26	11.8%
⑬ その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	15		21		56		84		45		221	

25 ナースプラザを利用したことはありますか

東京都ナースプラザ利用の有無については、「利用したことがある」が95人（43.4%）、「利用したことがない」は124人（56.6%）であった。

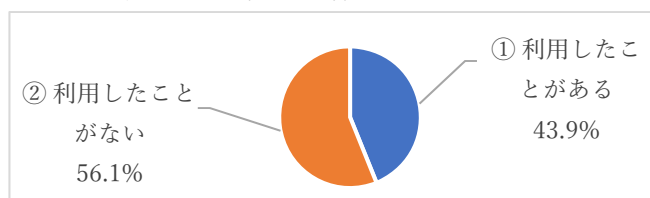
図表 25-1 利用の有無

n=221

	回答数	割合
① 利用したことがある	97	43.9%
② 利用したことがない	124	56.1%
総計	221	100.0%

図表 25-2 利用の有無

n=221



年齢別では、50代を除き「利用したことがない」割合が多い。

図表 25-2 利用の有無（年代別）

n=221

	20代		30代		40代		50代		60代		回答数	
① 利用したことがある	5	33.3%	9	42.9%	22	39.3%	49	58.3%	12	26.7%	97	43.9%
② 利用したことがない	10	66.7%	12	57.1%	34	60.7%	35	41.7%	33	73.3%	124	56.1%
総計	15	100.0%	21	100.0%	56	100.0%	82	100.0%	45	100.0%	219	100.0%

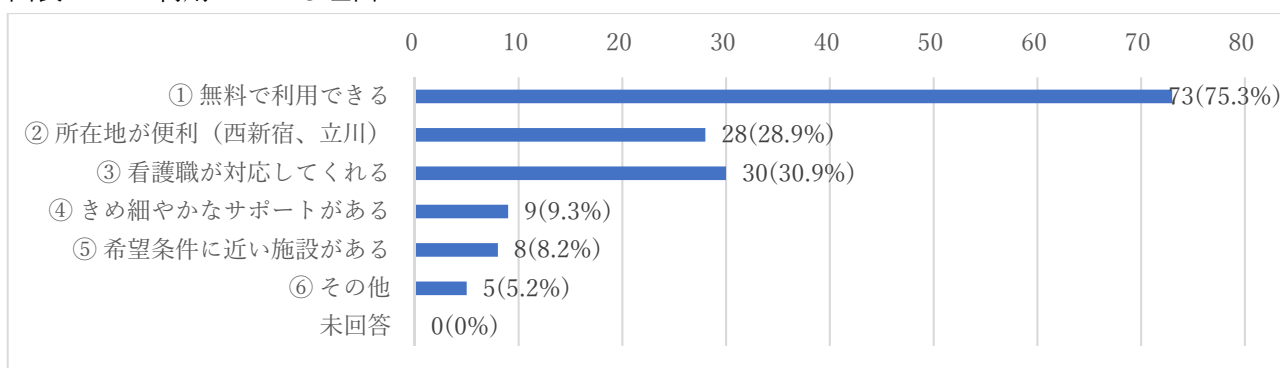
26 利用している理由（主な理由2つ）

利用したことがあると回答した97人に理由を尋ねた。

「無料で利用できる」が73件（75.3%）と最も多く、次いで「看護職が対応してくれる」が30件（30.9%）、「所在地が便利」が28件（28.9%）、であった。

図表 26-1 利用している理由

n=97



図表 26-2 利用の有無（年代別）

n=97

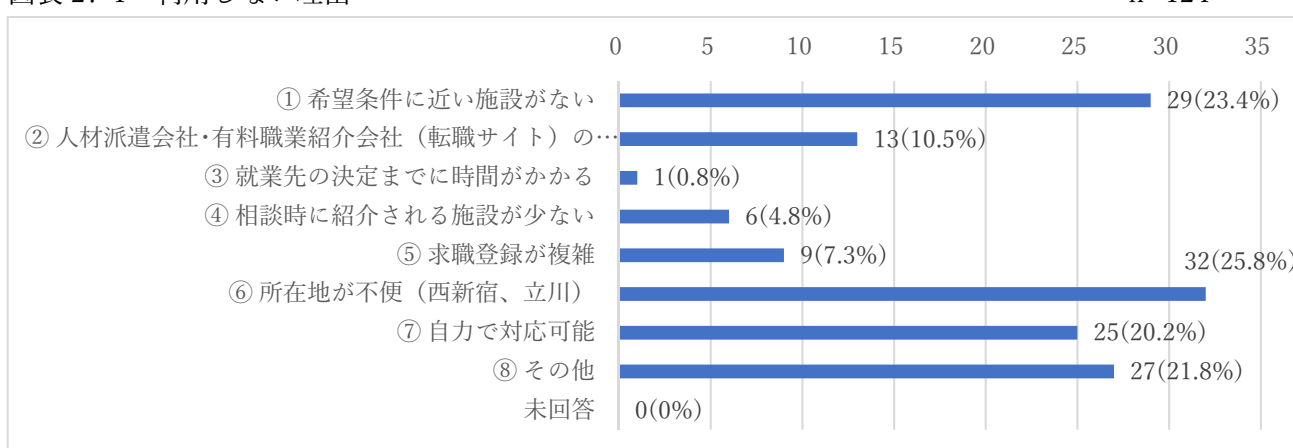
	20代		30代		40代		50代		60代		回答数	
① 無料で利用できる	4	80.0%	7	77.8%	19	86.4%	37	75.5%	6	50.0%	73	75.3%
② 所在地が便利（西新宿、立川）	0	0.0%	3	33.3%	8	36.4%	13	26.5%	4	33.3%	28	28.9%
③ 看護職が対応してくれる	1	20.0%	4	44.4%	5	22.7%	15	30.6%	5	41.7%	30	30.9%
④ きめ細やかなサポートがある	0	0.0%	1	11.1%	1	4.5%	4	8.2%	3	25.0%	9	9.3%
⑤ 希望条件に近い施設がある	1	20.0%	0	0.0%	2	9.1%	3	6.1%	2	16.7%	8	8.2%
⑥ その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	8.2%	1	8.3%	5	5.2%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	5		9		22		49		12		97	

27 利用しない理由（主な理由2つ）

利用しない理由は、「所在地が不便」が32件（25.8%）と最も多く、次いで「希望条件に近い施設がない」が29件（23.4%）、「その他」が27件（21.8%）で、「その他」と回答した約40%は「存在を知らなかった」「登録したばかり」であった。

図表 27-1 利用しない理由

n=124



図表 27-2 利用しない理由（年代別）

n=124

	20代		30代		40代		50代		60代		合計	
① 希望条件に近い施設がない	2	20.0%	3	25.0%	5	14.7%	12	34.3%	7	21.2%	29	23.4%
② 人材派遣会社・有料職業紹介会社 （転職サイト）の方が対応が早い	1	10.0%	1	8.3%	4	11.8%	5	14.3%	2	6.1%	13	10.5%
③ 就業先の決定までに時間がかかる	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.0%	1	0.8%
④ 相談時に紹介される施設が少ない	1	10.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.9%	4	12.1%	6	4.8%
⑤ 求職登録が複雑	1	10.0%	0	0.0%	3	8.8%	3	8.6%	2	6.1%	9	7.3%
⑥ 所在地が不便（西新宿、立川）	1	10.0%	3	25.0%	12	35.3%	8	22.9%	8	24.2%	32	25.8%
⑦ 自力で対応可能	2	20.0%	3	25.0%	8	23.5%	4	11.4%	8	24.2%	25	20.2%
⑧ その他	2	20.0%	3	25.0%	6	17.6%	9	25.7%	7	21.2%	27	21.8%
未回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	10		12		34		35		33		124	